2020年（令和2年）6月22日　月曜日　第744号（毎週1回発行）

本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）

パチンコ・パチスロ業界最新情報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2020年（令和2年）6月22日 月曜日
編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL.03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

Weekly Amusement Japan
©2020 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing Amusement Press Japan
planning & production Amusement Promotion
printing Four Plus One
年間購読料27,000円（税・送料込）
本紙記事の無断転載を禁じます。

週刊アミューズメントジャパンは
毎週月曜日 Webアップ!
PDFでもご覧いただけます
アミューズメントジャパン　検索

今週の紙面から

メーカーが活動再開
万全なコロナ対策で
高尾、ニューギン　2面

ニューノーマル時代の経営戦略
BPRにどう取り組むか　2面

情報収集場所は店内と店頭
パチンコ・パチスロプレイヤー調査2020　2面

福祉施設等に食品寄贈
安田屋　2面

セルプ商品の出庫増
アサヒディード　2面

特集 完全分煙時代の喫煙環境
エース電研、エルゴジャパン、オーイズミグローリーナスカ、SANKYO、JCMシステムズ J.G.コーポレーション、大都販売、ニューギン・アドバンス、フィールズ、マースエンジニアリング、ワイズ　3面

最新 全国店舗数・遊技機設置台数　4面

採用手段の見直しがカギに

ホール企業の21年卒採用

コロナで一変、好機に

新型コロナウイルスの感染拡大は21年卒採用にも大きな変化を生じさせた。一つは説明会や面接のオンライン化。もう一つは求人意欲の大幅な低下だ。前年までよりゆっくりとしたスピードで進む新卒採用は今後、どのようになっていくのだろうか。

来春入社の21年卒採用は、例年とは異なる様相で幕開けした。3月1日に解禁された合同企業説明会が新型コロナウイルスの影響で相次いで延期に。学生との接点がなくなった企業は、採用スケジュールを後ろ倒しにせざるを得ない状況になった。

就職みらい研究所の増本全所長は現在までの就職内定率の推移を、コロナ前と緊急事態宣言前後の3段階に分けて次のように分析する。

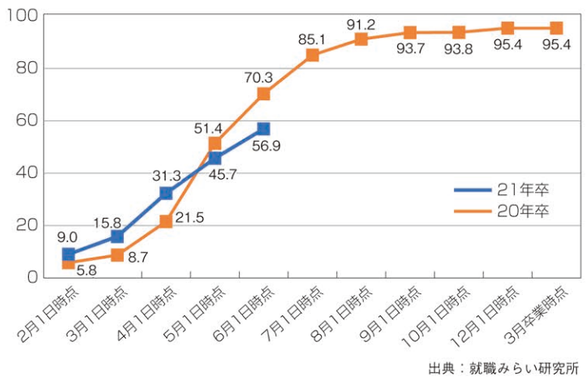
「コロナ前の段階では21年採用も人手不足が続き、2社に1社は計画通りの人数を採用できないと予測していました。危機感を持った企業もそれを見越し、早期の採用活動を計画。4月1日時点では昨年を10ポイント程度上回る就職内定率で推移しました。合同説明会をオンライン化に素早く切り替えつつ、この時点ではまだ、最終の対面面接ができていた企業が多かったのです」

しかし緊急事態宣言が4月7日に東京、千葉、埼玉、神奈川、大阪、兵庫、福岡で発令され、16日には全都道府県へ。外出の自粛要請が出たことで最終の対面面接が滞り、5月1日時点での内定率が前年を下回った。

「現行の採用スケジュールとなった17年卒以降、就職内定率が前年同月を下回ったのは初めてです。4月中もオンライン面接は活発に行われていたようですが、『最終面接は対面で』と考える企業の内定出しが止まりました」

選考過程のただ中にある6月1日時点の就職内定率は、前年比13・4ポイント減の56・9%。

大学生の就職内定率



出典：就職みらい研究所

求人意欲に陰り

増本所長は「緊急事態宣言が解かれたことで、6月以降は内定出しが進むだろう」と話すが、帝国データバンクが4月に行った動向調査によれば、企業の人手不足感は急激に低下している。正社員が「不足している」と回答した企業の割合は、前年同月比19・3ポイント減少し31・0%に留まった。非正規社員でも同様の傾向がある。

業種別に見ると「娯楽サービス」は、「不足計」の割合よりも「過剰計」の割合の方が大きい。「過剰計」の割合は43・9%で、「旅館・ホテル」「飲食店」に次ぐ上位3番目だった。

人手不足感の薄れや人員過剰は、新型コロナ禍で業務が急激に縮小したことに起因すると思われる。ここに業績回復の遅れという要素が加われば、求人意欲はさらに鈍化していくはず。

多くの企業が新卒採用の在り方を見直す今こそ、これまで採用に苦戦していた企業には追い風になる。遊技業界に特化した人材サービスを展開するパック・エックス営業本部の中村祐希部長も、「ほかの業種が採用を抑制している状況ですから、ホールは採用の絶好のチャンス」と話す。

ホール企業からは以下のような声が上がる。

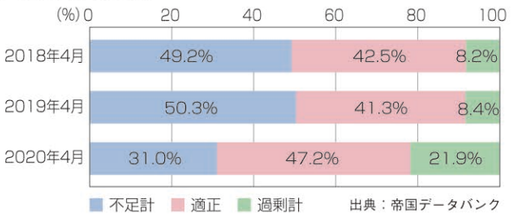
「短期的な業績が下がることは間違いないが、人の部分でコストを削減してしまうと企業の成長が止まってしまう。ここ何年間か満足な採用ができなかった分、今年は例年以上の人数を採用したい」（中部地区）

「過去を振り返っても、就職氷河期と呼ばれた時代ほど優秀な人材が入社してくれた。今年や来年は良い人材と出会えるチャンスになる」（関東地区）

では何をすればよいのか。パック・エックスの中村部長は、採用担当者の生産性を向上させるWeb活用の早期構築を提言する。

「今や学生も企業のWeb対応を会社選びの物差しの一つにしています。ホール業界でこれを構築できている企業は3割程度。早めの対応で一歩リードできます。Webで説明会や面接を行うことで、生産性を高めながら、学生一人ひとりにきめ細かな対応が可能になる。また、採用エリアを越えたアプローチができ全国の学生と接点を持ちながら採用を進められる。具体的な施策としては、訴求効果を高めるために、まず動画コンテンツの拡充が必要。また、採用担当者はWeb面接で学生の適性や意欲を判断するスキルと決断力を培うことも必要です」

正社員の過不足感



出典：帝国データバンク

日電協　総会

40周年迎え変化に対応

兼次理事長

日本電動式遊技機工業協同組合は12日、パレスホテル東京で通常総会を開催した。兼次民喜理事長は冒頭の挨拶で新型コロナウイルスの感染拡大の影響に言及。警察庁が旧規則機の検定期間、認定期間の1年延長という措置を取ったことについて「ホール団体と製造・販売団体のニーズは相反しているが、大きな視点で合意し、議員連盟の場で行政にお願いした」と業界が結束して行動した成果であることを説明。「ホールのみなさんはこの間、休業を強いられて、お客が減ってきている。そういう中で、旧規則機を最長来年の11月まで使えることで危機を乗り越えていただくことが我々の利益にもつながるはず」との認識を示した。

総会後の記者会見では、新台供給の見通しについて岩堀和男副理事長が「新台の供給が新型コロナウイルス前の水準に戻るには、数カ月くらいはかかると予想している」と説明。メダルレス遊技機の進捗については「供給目標を当初2021年の2月くらいまでとしていたが、コロナの影響があり今のイメージだと2021年の春ぐらいに目標を遅らせた形で調整していきたい」と見通しを述べ、「メダルレスはメダルが無いので衛生的。今のコロナの状況を踏まえて、衛生面も含めて現行機との差別化が図れるというところも行政にお話をしていきたい」と意欲を示した。

今年、日電協が創立40周年を迎えたことについて兼次理事長は「お店の数も減ってはいますが、パチンコ・パチスロの熱烈なファンがいるのも事実。変化に対応しつつ今後も生き残りを模索していかなければならない」と襟を正した。

なお、令和元年度の日電協証紙発給枚数は41万984枚（前年度比22・2%増）だった。

都遊協　総代会

阿部理事長を再任

東京都遊技業協同組合は12日、都内の東京ドームホテルで総代会を開催。任期満了に伴う役員改選があり、阿部恭久理事長が再任された。

総代会の冒頭、阿部理事長は12日0時をもって東京アラートが解除され休業要請の緩和行程がステップ3に移行されたことにより、パチンコホールの休業要請が解除されたことに触れ、「ここまでの間、多くの店舗に休業にご協力いただいた。ありがとうございました」と組合員に感謝の意を述べた。

阿部理事長

その上で、「今後、感染が広がる可能性がないとも言えない。そのような状況の中、パチンコ・パチスロ産業21世紀会でしたガイドラインを遵守していただき、パチンコホールからクラスターを発生させないという強い気持ちを持っていただき、営業していただくことが不可欠」と、新型コロナウイルス感染防止対策の継続した取組を要請した。

日工組　総会

新規則機の供給、全力で

日本遊技機工業組合は5月27日、都内の日工組会議室で通常総会を開催した。

令和元年度の事業報告では、ぱちんこ遊技機の証紙発行枚数が132万枚（遊技盤約69万枚含む）で前期から7万枚増加したことを報告したが、「依然として低い水準で推移し、極めて厳しい状況。旧規則の遊技機が市場の多くを維持する傾向があった」と総括した。回胴式遊技機の証紙発行枚数は約27万枚で、前期から12万枚増加。「機種に依存した傾向もあり厳しい状況」との認識を示した。

日工組遊技機回収システムによる当期の使用済み遊技機の回収量は約101万台（ぱちんこ遊技機87万台、回胴式遊技機14万台）で前期とほぼ同数だった。

令和2年度の事業計画では、「ぱちんこ遊技機、回胴式遊技機とも、規則の改正に伴う入替需要に対応できるよう、遊技機の供給体制を整え全力を挙げる」とし、規格解釈基準の改正、内規等の変更などによりバリエーションに富んだ遊技機供給が可能になったことから「規則改正の趣旨を重視しながら、手軽に安心して遊べる遊技機を開発、提供していく」とした。

管理遊技機については、日電協が進めるメダルレス遊技機と歩調を合わせて、カードユニット関連団体とも連携を図りながら、「具体的な導入に際しての情報共有を進める」とした。ホール関係団体に対しては「不正防止対策、環境対策、コストの低廉化などの検討に加えて、出玉情報を一元的に確認できるシステムとして過度な射幸性を抑制し、遊技機の適正管理やホール環境の整備に資するものとして理解と協力を求めていく」という方針のもとで施策を推進していくという。

全商協　総会

安全な遊技機の提供を

全国遊技機商業協同組合連合会は9日、都内の全商協会議室で通常総会を開催した。

令和元年度の全商協の中古機取扱台数を示すぱちんこ中古機に貼付する確認証紙の交付件数は50万2776件（前年度比97・6%）、台数で76万5568台（同97・6%）と微減。だが、4月の交付状況は3万3723件（前年比69%）、台数で5万1015台（同68%）と新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく表れた。

令和2年度の事業計画では、安心・安全な遊技機を提供するため「全国8地区遊商に所属する組合員販社に従事する遊技機取扱主任者のスキル向上を図るべく、引き続き講習会の運営や流通システムの堅持に努めるとともに、商権擁護並びに経済的地位向上に資するために必要な活動にも積極的に取り組んでいく」としている。また、災害発生時の支援活動等にも積極的に取り組んでいく姿勢だ。

回胴遊商　総代会

希望のもてる遊技産業へ

回胴式遊技機商業協同組合は5月26日、都内で通常総代会を開催した。

令和2年度の事業計画では活動目標に「希望のもてる豊かな遊技業界を創造するために全力を尽くす」を掲げ、働き方改革に則った組合員やその従業員の労働環境改善に継続して取り組む。また中古機流通業務の知識と技能の向上を図るとともに、環境の変化にも迅速に対応できる遊技機取扱主任者の育成を図る。

その他、各支部の機能の活性化を目指すことや、社会貢献活動やパチンコ・パチスロ産業21世紀会と連携して取り組んでいる依存問題対策への対応などの継続的な実践も図っていくとした。

いわゆる「闇スロ撲滅」や「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の積極的な推進にも取り組んでいく。

黒岩流！ チーム力で成果を上げろ　第99回

コロナ禍を乗り越えるために夢を描き、語っていこう

株式会社上司の魔法 代表　黒岩 禅

私が5歳のころ、母が失踪しました。父からの暴力が原因です。その後、私も父からの虐待を受け「消えてなくなりたい」と世界に絶望していました。そして、父も失踪し、私は児童養護施設で育ちます。中学卒業と同時に施設を出て、昼間働きながら夜間高校に通う日々。高校卒業後に転々とするアルバイトでTSUTAYAと出会ったのです。

アルバイトを始めて数カ月後に「社員にならないか？」とお誘いいただき、2カ月後に店長に抜擢されました。2号店をオープンするにあたり、社員が私しかいなかったからです。それでも、施設で育った私にとっては、飛び上がるほど嬉しいことでした。

しかし、店長として3年目を迎えた22歳の春、会社を辞めようかと悩んでいました。自宅でテレビを観ていると「お嬢さんを僕にください！」と結婚の許可を得るシーンがありました。不機嫌そうなお父さんが、男性にいくつか質問します。「ご両親は何をしている？」「どこの大学を出たんだ？」「どんな仕事をしてるんだ？」

よくあるシーンだったのですが、当時の私には胸が痛くなるシーンでした。お父さんの質問に、無意識に答えます。「ご両親は？」「幼い頃に失踪しました」「どこの大学を？」「定時制高校です」「どんな仕事を？」「レンタルビデオの店長をやってます」。当時のレンタルビデオ店のイメージは、年配の方からは「アダルトビデオを扱ういかがわしい店」と思われていました。そんなやつに大事な娘はやれないと、私自身が思ってしまったのです。

このままでは幸せになれない。親がいないのは変えられない。学歴がないのも変えられない（当時はそう思ってました）。変えられるのは仕事だけだ。仕事だけでも、まっとうなところで働きたい…と悩んでいたのです。そんな私の考えを変えたのが、お客様の言葉でした。

「店長、昨日はありがとな！仕事で失敗して落ち込んでたんやけど、勧めてもらったビデオ、おもろかったで！」

その嬉しそうな言葉を聞いたとき、「俺の仕事はこれやん！いかがわしい仕事とちゃう！お客様に喜んでもらえる仕事やん！」と思えたのです。

「この業界で一番になったら世間にも認めてもらえるちゃうか？」

私にとって初めての夢が生まれた瞬間でした。業界で一番になって、だれからも認めてもらえる自分になる。まずは「売上を上げられる店長になる！」と決めました。

その後、売上伸長率が全国でベスト10に入り、売上や接客などを競い合う、TSUTAYA5つ星店長コンテストで念願の日本一になるのです。

文字にすれば数行のことですが、その裏では、書ききれないほどの問題が起きました。それをなぜ乗り越えられたのか？ 私には夢があったからです。「業界で一番になって、誰からも認めてもらえる自分になる！」。そんな夢があったから、がんばれたのです。

夢を思い出してください。描いてください。そして、語ってください！ あなたの仕事は、誰かを幸せにしています。そして、これからも誰かを幸せにするのです。夢はそんな力をくれます。夢があるから、がんばれるのです。

国難とも言える今、一緒に乗り越えていきましょう！

くろいわ・ぜん

年間3000万円の赤字店舗を半年で黒字化するなど多くの収支改善の実績を持つ。TSUTAYA5つ星の1280店舗が、売上や計画達成率を競い合うTSCでグランプリ獲得。最多の受賞数を誇る。現実現場から生まれたマネジメント、<太陽のマネジメント>を伝える実践型講師。講演・セミナーでの、他に類を見ない圧倒的なパフォーマンスは評判。

株式会社上司の魔法 代表取締役
http://square-one.jp
Twitter　@ZENG_Q

特別保存版
建築デザイン&設備機器
SPECIAL FEATURE Ⅰ 最新ホールデザイン集 AMUSEMENT SPACE 2020
SPECIAL FEATURE Ⅱ 設備機器&サービス キーワードは省力化と分煙対策

INTERVIEW
オオキ建築事務所代表
大木啓幹
新常態への対応をいち早く

NRC一級建築士事務所代表
鶴田 一
アフターコロナのホールデザイン展望

FEATURE
緊急事態宣言解除後 シーズ
安心アドバイザー認知 来店客の34%
日遊協 来店客調査
2019年のパチスロ参加人口回復
日遊協 パチスロプレイヤー調査
感染防止ガイドラインを提唱
オオキ建築事務所
新型コロナウイルスの影響
「パチンコ行きたい」47%
シーズ
若年層ほど自粛疲れ
新型コロナウイルスの影響
シーズ、エンビス総研、APJ
遊技参加人口1021万人に微増
パチンコ・パチスロ産業21世紀会
規則改正に伴う旧規則機の取り扱い
本誌調査
「遊タイム」など期待8割
パチンコ・パチスロ産業21世紀会
拡大予防ガイドライン
パチンコ・パチスロ産業21世紀会
新型コロナウイルス感染症の

PRODUCT REPORT
喫煙専用室『Fパッケージ』
SANKYO
『パーソナルボード（固定式）』
エルゴジャパン

TREND WATCH
密を避けたい心理を汲む
次代を意識した完全分煙
持続可能性が高い店舗の「台数」とは!?
成功する新規出店

PACHINKO・PACHISLOT・AMUSEMENT
経営者の必読誌
Amusement Japan
月刊 アミューズメントジャパン
2020 7

定期購読のお申し込みはお電話またはメールで　TEL.03-5447-0555　mail info@amusement-japan.co.jp

高尾、ニューギン

万全なコロナ対策で活動再開

6月12日に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛・休業要請を緩和するロードマップをステップ3に移行した東京都では、ほぼすべての経済活動が再開された。営業を自粛していた遊技機メーカーも万全な感染症対策を施したショールームで内覧会を再開し始めた。

高尾

ニューギン

※写真はAPJ取材

高尾の東京支店ショールームでは入り口に感染症対策実施中の看板を設置。受付には飛沫感染を防止するアクリル板と消毒液、非接触型の体温計を用意した。新機種が設置された島スペースの台間にもアクリルボードを設置、台ごとに使い捨ての手袋を用意したほか、商談スペースとなるテーブル中央にアクリル板を設け、対応する営業マンにはフェイスガードを装着させるなど、徹底した対策を講じた。

高尾では新解釈基準対応機第1弾の『P貞子3D2～呪われた12時間～』の販売を開始。「遊タイム」に加え、「突サポ」「100回転を超える時短機能」の新時短機能すべてを採用した注目の機種だけに、多くのホール関係者が安心してショールームに足を運べる環境づくりに力を注いでいる。

ニューギン販売東京支店では、入り口を入ってすぐの場所に、消毒液と使い捨ての手袋を用意。感染症対策実施中の看板を設置した。受付にはアクリル板、商談用のテーブルは通常時の半分に間引き、アクリル板と消毒液を置いた。消毒液には、商品名と効果が分かるPOPを添えて訪れるホール関係者が安心できる環境を整えた。新機種の台間には飛沫防止用のパーテーションを、台ごとにマイクロファイバークロスと消毒液を準備した。また、試打をする来場者と試打待ちの来訪者のソーシャルディスタンスを確保するため、黄色い線を引いて距離をとる工夫をした。

遊技機に関しては、「目視しないとわからない」とのこだわりを持つホール関係者が多いことから、ニューギングループでは可能な限りショールームでの対応を検討。ニューギンでは「ホール営業を回復させるために購入費用や運用コストが抑えられる『ECOパチ』を活用していただきたい」と呼びかけている。

シーズ、エンビズ総研、APJ共同調査

情報収集場所は「店内」「店頭」

パチンコ・パチスロプレイヤー調査2020

シーズは5月22日、エンタテインメントビジネス総合研究所とアミューズメントプレスジャパンと共同で今年2月に企画・実施した「パチンコ・パチスロプレイヤー調査」の中の、情報収集源とSNS等の利用状況の結果を発表した。※調査概要は末尾参照

パチンコ・パチスロプレイヤー（過去1年間に1回以上遊んだことがある人）が普段利用しているパチンコ・パチスロの情報収集源は、店内、店頭、店舗のホームページなど個々のパチンコホールからの情報が上位を占め、「家族・友人・知人のクチコミ」がこれに続いた。

昨今、インターネット上に多くの情報が流通しているが、情報収集経路の上位2つがいずれもオフラインであり、他を大きく引き離していることから、店内・店頭の情報発信、プロモーションの重要性が改めて確認された。

要因として、パチンコ・パチスロは参加者の年齢の幅が非常に広く、インターネット媒体をパチンコ・パチスロの情報収集ツールとして使いこなしていない年齢層が少なくないことも一因と考えられる。

パチンコ・パチスロの情報を収集するにあたって、SNSを活用しているプレイヤーは4割にとどまった。

もっとも活用されているSNSは「LINE」、次いで「Twitter」だが、プレイヤー全体の約2割にすぎない。

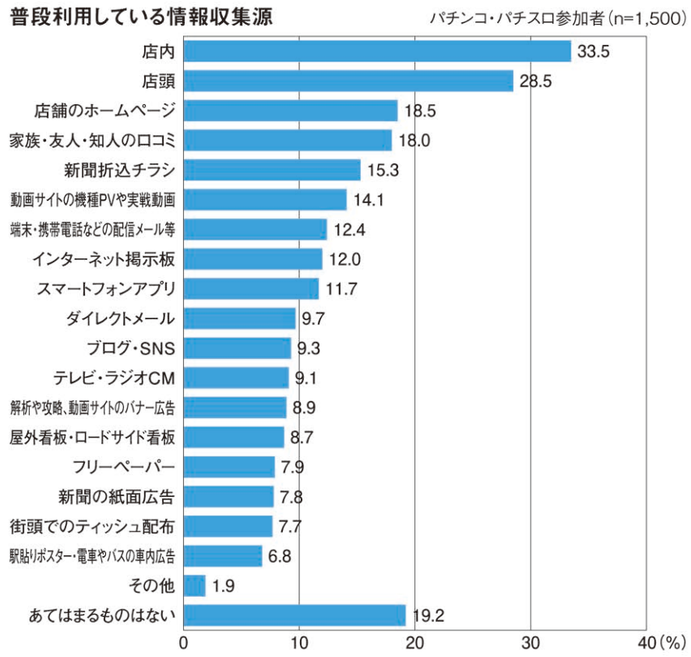
このような結果ではあるが、遊技参加人口はゆるやかに若年層が増えていることから、今後、SNSやWEBによる情報発信強化は必須と言えるだろう。

＊　＊

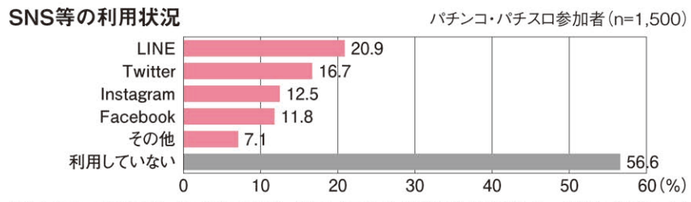
調査は、パチンコ業界周辺の基礎研究調査の一環として、株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所が1995年から企画・実施してきた調査を、株式会社シーズがその手法を踏襲し2019年から引き継いだもの。

今回実施した調査に基づくパチンコ・パチスロ参加人口の推計等の「パチンコ・パチスロプレイヤー調査2020」の結果は6月下旬の発表を予定している。

普段利用している情報収集源　パチンコ・パチスロ参加者（n=1,500）



SNS等の利用状況　パチンコ・パチスロ参加者（n=1,500）



出所「パチンコ・パチスロ プレイヤー調査2020」（シーズ、エンタテインメントビジネス総合研究所、アミューズメントプレスジャパン）

ニューノーマル時代の経営戦略

BPR（抜本的な業務改革）にどう取り組むか

緊急事態宣言が解除され、多くのホールが営業を再開した。しかし、稼働や売上げが休業前まで回復した店舗は少ない。ホール業界の誰もが経験したことのない「異常な状況」から脱するために、いま何をすれば良いのだろうか。

4月から実施された店内完全分煙も稼働に影響を与えるニューノーマルだ　※写真はイメージです。本文とは関係がありません

「常態」を認識してBPRで対処する

解決策を導き出すためには、前提として、この状況がすでに「異常」ではなく「常態」であることを認識しなければならない。ビジネスや経済学の分野では、リーマン・ショック（2008年）後のような「かつては異常とされていた事態が当然のものとなっていること」をニューノーマル（新たな常態）と呼ぶが、現在はまさにこの状態なのだ。

ニューノーマルの下で、ホール法人は業績回復に向けどう取り組んでいけばいいのだろうか。

ホール特化型経営支援システム『Compass』を提供しているITCの鈴木一彦CCOは、今までのように人員削減や節電などによるコスト抑制だけでは、この状況を抜け出せないと話す。

「この逆境を乗り越えるために取り組むべきことの一つは、BPR（ビジネス・プロセス・リエンジニアリング＝抜本的な業務改革）です。BPRは、無駄を省くだけの業務改善とは異なり、業務プロセスや組織を抜本的に改革することで業績を向上させます」

BPRとは何かを理解するために、次のような例がわかりやすい。複数の系列店の責任者が集まる本部会議は、スケジュール調整だけで時間がかかり、移動のロスタイムや経費も発生する。ZOOMなどのWEB会議システムを使えば、こうしたロスを一挙に解消できる。PCやタブレット、スマホがあれば、出張中や移動中の人でも参加可能。事前にグループウェアで各人の仕事の進捗や決済状況を情報共有、チャットルームで意見を交換しておけば、WEB会議はよりスムーズに運営できる。こうした流れがBPRの一例だ。

鈴木CCO

あらゆる業務で抜本的な改革を

BPRが可能な業務は多岐にわたる。あるホール企業では、経営支援システムの発注管理機能を使い、広告制作依頼管理を一元化した。各店舗でバラバラに行っていた本部へのチラシや店内POPなどの発注業務を一本化。同内容で店舗名や日時が違うだけの物は、画像素材やコピーを共用して、制作時間と労力を抑制した。制作物のデータをアーカイブし、関係者が閲覧できるようにすることで、印刷物の企画・立案業務の効率化にも役立っている。

賞品在庫の確認と発注量の調整に追われているホールも多い。「コロナ以前」の前年同時期の記録が参考にならないためだ。賞品管理・WEB発注システムを使えば、すべてのPOS入出庫データをクラウド上で一元管理。全系列店の賞品・在庫状況を確認し、不必要な発注を抑制できる。食品の賞味期限の管理も自動的に行うので廃棄ロスも防ぐ。電子請求管理システムと連携することで、煩雑な納品・請求書管理も省力化できる。

人材育成でもBPRは有効だ。ホール業界特化型のある人事育成評価システムは、役職（フロアスタッフ、リーダー、主任、店長）に応じた評価項目や評価ポイントに対応。店舗異動が生じた場合でも、A店での評価、B店での評価を加味した公正な評価ができる。このシステムは、データの一元化と可視化によって公正な人事評価を実現。社員一人ひとりのスキルに合わせて、公正に人事評価を行うことで、きめの細かい人材育成をサポートしBPRに寄与する。

◇

ホールから足が遠のいてしまったのは、新型コロナウイルス感染による重病化を懸念する高齢層だけではない。若者層にも自粛期間中にソーシャルゲームなどの楽しさを知り、「パチンコ以外にも面白いことがある」と休眠層になった人もいる。こうした「常態」は長期間続く可能性が高い。

BPRは業績回復のための手法の一つに過ぎない。パチンコ・パチスロ産業を未来に継承していくためには、営業形態や遊技機など多方面での抜本的な改革が必要になってくるかもしれない。

福祉施設等に食品寄贈

安田屋

左から同社の山下信浩社長、フードバンクいたばしの藤村代表、板橋区社会福祉協議会の七島常務理事

「YASUDA」の屋号で関東を中心にホール27店舗を運営する安田屋（東京都板橋区）は5月25日、PB賞品（菓子）とその他食品合計約1万2000点を板橋区内の保育園ほか、社会福祉協議会やフードバンクを通じて社会福祉施設等に寄贈した。

緊急事態宣言に伴う営業自粛要請を受け4月8日から全店舗を休業。現在は全店舗で営業を再開。休業により在庫となった賞品の寄贈を決めた。

同社は「社会貢献並びにフードロス削減の観点から、今回の寄贈を実施した。今後も地域社会への貢献活動を実施・継続していく」としている。

セルプ商品の出庫増

アサヒディード

「イルサローネ」の屋号で大阪と兵庫にホール12店舗を展開するアサヒディード（大阪市浪速区）は5月22日、一部店舗が賞品として取り扱うセルプ商品（クッキー）の販売個数を発表。2019年度の出庫総計は1万1748個で、前年度より948個（8・7％）増加した。

同社は障がい者の就労を支援するために、近隣の福祉施設「ささゆり作業所」と「夢二色」が生産する製品を12年から取り扱い始めた。14年度には「神戸ふれあい工房」からも仕入れるようになり、『イルサローネ泉佐野店』『イルサローネ貝塚店』『イルサローネ三田店』で提供している。

このうち泉佐野店では18年度から、夢二色に袋詰めを依頼した「大木米」の販売も開始。お試しサイズの2合（500円相当）が好評で、今年6月から2キロサイズをラインナップに加えるという。

「夢二色」のクッキーと貝塚店のスタッフ

「生産者の方にも販路が広がったと喜ばれています。今後も生産者や福祉施設との関係を築きながら、お客様に喜ばれる賞品を提供したい」と担当者は話す。

横浜で闇スロ摘発

いわゆる「闇スロ店」で客に賭博をさせたとして神奈川県警は15日、ゲーム機賭博店員（25）ら男3人を常習賭博容疑で現行犯逮捕し、パチスロ機60台を押収した。報道によると、3人は15日、横浜市中区福富町西通の雑居ビル内の店舗で、旧式のパチスロ機を使い、20～50歳代の男女12人に賭博をさせた疑い。同店のレートは通常のパチスロ店の5倍などと高額で、出入り口には店内が見えない金属製の扉や監視カメラを設置していた。3人は調べに対して容疑を認め、5月25日から営業していたと説明。うち1人は「コロナの影響でアルバイトをしたくても働ける場がなかった」と供述しているという。

警察庁人事

岐阜県警察本部長
奥野省吾警視監
昭和40年7月生まれ、三重県出身。平成1・3東京大経済卒。1・4入庁、26・4大分県本部長、30・1皇宮本部副本部長

人事

エンターライズ
6月3日付
代表取締役社長　新井聡司

特集 完全分煙化時代の喫煙環境

4月1日から改正健康増進法が全面施行され、パチンコホールも屋内原則禁煙となった。だが、喫煙者が多いパチンコ・パチスロプレイヤーに向けて、ストレスのない喫煙環境を用意しておくことが重要になる。

エース電研『オリジナル喫煙ブース』

島メーカーならではの提案で付加価値を追求

フレームの素材には重厚感のあるスチールを使用。飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを採用しているので強度が高く、万一、ガラスが割れるトラブルがあっても周辺に飛び散らないなど安全性を担保する。

島配置や空調、来店客の動線などを考慮し、最適な配置場所を提案するなど、島メーカーならではの喫煙環境をトータルで提案してくれるのもエース電研製品を導入するメリットだ。

あるホールでは、喫煙ブースを設置したいスペースが直線で区切ることができなかった。喫煙ブースは通常、長方形、正方形といった直線の組み合わせだが、エース電研ではそれをカスタマイズし、スペースに合わせて設置するなど、ホールの状況に応じて対応した。

紙巻タバコ（左側）と電子タバコ（右側）でそれぞれ専用の喫煙ブースを用意。重厚感のあるブラックの喫煙ブースが店舗のイメージにマッチしている（キング観光サウザンド栄住吉店）

エルゴジャパン『スモーククリア』

「高性能」「低価格」「省スペース」導入店からも高い評価

長年プレイ環境の改善を提案し続けてきたエルゴジャパン。そんな同社が提供する喫煙ブース『スモーククリア』は、ホールとプレイヤー双方のメリットを最大限に高める。

コンパクトタイプなので設置に手間がかからず、導入後の設置場所変更にもフレキシブルに対応できる。中央通路への設置も容易なので店側は稼働ロスを最小限に抑え、プレイヤーは短い移動距離で喫煙ブースを利用できる。

スモーククリアはウイルス除去率99.995%の性能を持つフィルターを搭載し、高性能な空気清浄機能も併せ持つ。屋内排気、屋外排気ともに対応可能。すでに多くのホールに導入されており「高性能」「低価格」「省スペース」な点などが高く評価されている。

各島から見える中央通路にも手軽に設置できる「スモーククリア」

オーイズミ 分煙用喫煙ルーム『SMOKING ROOM SMB-100』

施工時間短縮するパネルユニット構造

『SMOKING ROOM SMB-100』は、利用人数に合わせて標準で1人用、3～4人用、5～6人用の3タイプをラインナップ。バリエーション展開などにも対応しているので、運用後の増設などにもニーズに合わせて対応できることが大きなメリットだ。

施工時間を短縮するパネルユニット構造で、大容量換気扇を装備し、換気気圧差で煙を吸い込む。これにより改正健康増進法で定める境界面風速0.2m／secの基準もクリアする。

室内にはLEDライトを搭載し、ドアは煙の流出を抑える引き戸式。無電源で自動で閉まるタイプなので、出入りの際の煩わしさも感じない。人感センサを標準装備して省エネでのオペレーションも実現した。

SMOKING ROOM SMB-100の3～4人用タイプ。ほかにも1人用、5～6人用もラインナップ

グローリーナスカ『喫煙ルーム』

パネル組立てで簡単施工 スピーディな導入を実現

従来からのラインナップに加え、5月から新モデルの発売を開始した。新モデルの喫煙ルームは、軽量かつ高強度なアルミ素材のパネルフレームで構成されており、大がかりな工事は不要。設置後の移設にも迅速に対応できる。公衆電話ボックスで培った技術を活用、高耐久性で調整が容易な中折れトビラを採用した。

屋外排気のため、フィルター交換などのランニングコストは不要。軽量ユニット式なので屋内設置時の建物への負荷を軽減。屋外用のオプションを追加すれば屋外での設置にも対応する。

標準サイズは最小「3人～4人用」（W1900×D1300）から最大「11人～12人用」（W3700×D1900）まで4タイプのバリエーションを揃えた。

軽量でも高強度なアルミ素材で耐久性は抜群。デザインもスタイリッシュ

SANKYO『Fパッケージ』

設置工事までをパッケージ化 選べる6サイズを短工期で

四方の壁と天井をサッシ構造で独立させた喫煙室と、換気設備および電気系統の工事をひとまとめにしたパッケージ製品。喫煙室のサイズは、最少1人から最多7人までが同時利用できる6サイズを揃えている。どのサイズでも本体寸法の高さが2.4メートルあり、喫煙者自身に及ぶ煙の影響が少ない点が特徴だ。

喫煙室の入り口から室内に向かう境界面風速は、毎秒0.2メートル以上（設計値）を確保。タバコの煙は屋外に排気し、技術的基準をすべて満たしている。このほか各種オプションとして、空気清浄機や消臭システム、灰皿などのカスタマイズも可能。至れり尽くせりのパッケージ製品ながら、最短2日の工期で設置できる。

注：デザイン及び規格は、変更になる場合があります。

JCMシステムズ パーソナル分煙ボックス『J-TBOX』

狭小スペースにも対応できる1人用喫煙ブース

快適な喫煙空間を実現する1人用喫煙ブース。大容量排気が可能な高効率集煙タワーを接続するため、前喫煙者との交代時でも他人の煙が気にならず快適に喫煙できる。800㎜×800㎜×2405㎜の広さがあれば減台せずに設置でき、中折れ扉なので入口付近のスペース確保も少なくて済む。駅前型ホールで複数人数用の喫煙ブースを設置するほどスペースがない店舗でも、喫煙者のニーズに応えることができる。

紙巻きタバコ、加熱式タバコの喫煙種別ニーズの多様化にも対応可能。バックヤードのスタッフ専用の喫煙ブースとしても最適だ。集煙タワーはフィルターレスなのでローコスト、ローメンテナンスも魅力。

『サイバーパチンコ秋葉原昭和通り口店』（東京都千代田区）に設置された『J-TBOX』（特許出願中）

J.G.コーポレーション 喫煙専用室／ワンパス脱臭装置『OP100』

屋内排気認める設置基準をクリア

『OP100』は、総揮発性有機化合物（TVOC）の除去率が95%以上、室外に排気された時の浮遊粉じん量が0.015mg/㎥以下という、厚生労働省の基準を満たした脱臭装置。屋内排気でも清浄な空気環境が保てるので、店舗内でフレキシブルに喫煙ブースの設置や喫煙専用エリアの構築ができる。

脱臭効果は同社が長年蓄積したノウハウを活かして、多孔質吸着剤により臭気濃度比99.8%以上を達成。内蔵の無段階変速ファンは、境界面風速0.2m/sec以上の初期設定風量を確実に確保。喫煙専用室からの臭いや煙漏れを許さない。同社では、『OP100』を設置した喫煙ブースや喫煙専用室をホールに提案している。

業務用空気清浄機で培った技術を結集した喫煙専用室を提案

ワンパス脱臭装置『OP100』

大都販売『Utility Space妻板』

島端や島中に喫煙スペース「3密」のない環境創出

妻板とパーテーションを組み合わせることで、島端や島中、柱などに有用なスペースを生み出す。各種イベントスペースとしてはもちろん、喫煙ブースとしての利用も可能だ。島端に喫煙ブースがあれば、タバコを吸うための移動距離が短くて済み、プレイヤーのストレスも生まれない。ドアがオープンで「密閉」されておらず、少人数での利用のため「密集」「密接」が少ない「3密を防ぐ」環境を創出できるのもメリットだ。

大都販売は補給メーカーとしてトップシェアを誇るだけでなく、建築、施工なども手がけるだけに、消防や建築、空調関連を含めたトータルの提案ができるのが強みだ。店外排気のダクトを付けたとしても、閉店後作業だけで店休を挟まずに設置できる。

島端を活用して喫煙ブースを作った東京都青梅市の『オリエントヴィーナスホール』

ニューギン・アドバンス ユニット式『喫煙ブース』

バックヤード等に最適な1人用サイズを新たに追加

大掛かりな工事が不要で、最短数時間で施工できる低価格のユニット式『喫煙ブース』をニューギン・アドバンスとアイリスオーヤマが共同開発。

パネルの組み合わせで専用室の大きさを変更できるため、設置スペースや希望収容人数に合わせた大きさに変更可能。パネル透明部は、樹脂製の難燃タイプと、強化ガラス製の不燃タイプの2種を用意。設置環境に応じて選択できる。

今後も喫煙ブース新設・増設といったニーズに対し、低価格・短工期でフレキシブルに対応。更に、従業員用としてバックヤード等の限られたスペースでも設置可能な1人用サイズ（W850ミリ×D850ミリ×H2200ミリ）の難燃タイプの喫煙ブースを新たにリリース。

低コストで設置できるため、増設を検討しているホールにも最適

フィールズ『SmartSmoking:O』

最高品質のパーテーションを採用 屋内排気も可能に

業界シェアトップを誇るコマニー社のパーテーションを採用した高性能な喫煙ブース。パチンコの玉が時速180㎞で当たっても割れない衝撃耐性を持ち、特殊コートで擦り傷や押し傷を自己修復するため、長期間安心して使用することができる。間仕切り工事のため施工期間は最短一日。設置後の移設にも対応する。

プラズマ発生装置と触媒の組み合わせで、ニオイの元を徹底的に取り去る脱臭機「プラズマダッシュ」は、高性能フィルタを搭載。タバコの煙を一度の処理で除去、循環処理することで室内に煙が滞留する時間を大幅に削減する。花粉やホコリなどの粒子状物質を99.9%除去、室内をミクロン単位でクリーンに。屋内排気にも対応可能となる。

国内最高峰の品質を誇る『SmartSmoking:O』。写真は4人用の喫煙ブース

脱臭機『プラズマダッシュ シグマ』

マースエンジニアリング『スモークポイント』

ホールに映える洗練デザイン 高性能と低コストを両立

北欧デザインのスタイリッシュな喫煙ブース。開放感がある透明ガラスの仕切り板は、遊技フロアでもバックヤードでも、既存空間の雰囲気と上品に調和する。厚生労働省の基準をクリアする脱煙の機能性も申し分なく、たばこの煙は特殊三層フィルターが毎時1800㎥で吸引。99.95%を除去してからフロアに排出する。

清潔感が求められるホテルなどに多く導入される一方で、コストを抑えたい事業者の問い合わせも急増している。ダクト工事が不要な上、人感センサが維持費を抑制。水を使用しない灰皿は約3500本の吸い殻を収納でき、清掃要員を最小限にとどめられる。

稼働音は約50デシベルで、室外の人とのコミュニケーションも妨げない。

約3500本の吸い殻を収納できる灰皿部

6人まで同時利用できるセミオープン型（W200×H220×D160㎝、約430kg）

ワイズ『スマートFIT喫煙ブース』

豊富なバリエーションで組み合わせも自由自在に選択可能

バリエーションが豊富で、自由な組み合わせができ、どんな遊技空間にもフィットする喫煙ブース。カウンター仕様のベーシックタイプをはじめ、カウンターに仕切りを付けたプライベートタイプ、他人の煙が気にならない個室タイプなどを用意。女性専用、紙巻きたばこ専用、加熱式タバコ専用などの用途別や、自店のスペース、予算といった条件に合わせて無駄なく設置できる。

使用頻度の低い風除室やレストスペースなどを喫煙ルームに改装するニーズにも対応する。29色というカラーバリエーションも魅力。どんなデザインコンセプトの店舗でも、トータルイメージを損なうことなくセレクトできる。

カウンターに仕切りを付けたプライベートタイプ（左）と個室タイプ

New Machine Digest

コナミアミューズメント
戦国コレクション4

問い合せ／㈱コナミアミューズメント　導入予定日 8月

©Konami Digital Entertainment,NAS/「戦国コレクション」製作委員会　©Konami Amusement

最速AT×天国モード 戦コレ2の正統後継機

累計貢献180週という驚異的な実績を残した『戦国コレクション2』の正統後継機。規定コレ到達でAT突入、鬼ヶ島チャレンジ・修羅モード・天国モードのAT連搭載など『戦国コレクション2』のユーザーが違和感なく打てるゲーム性を継承し進化した。通常時は小役で夢幻ポイントを獲得、1000ポイントでアイコンが手に入るとシナリオ管理型AT「夢幻海ラッシュ」への突破率がアップする。純増が約10枚/Gになり、最強の上乗せ特化ゾーン「快楽宴」を搭載するなど、出玉システムも強化。フリーズやオール100%シナリオなど有利区間終了までの獲得枚数MAXとなる2400枚達成のトリガーも多彩だ。

ATタイプ（純増約10枚/G）
鬼ヶ島チャレンジ突入確率：1/213.4（設定1）～1/211.5（設定6）
夢幻の間初当たり確率：1/399.4（設定1）～1/241.6（設定6）
出玉率：97.0%（設定1）～110.2%（設定6）

Daiichi
Pひぐらしのなく頃に～憩～

問い合せ／㈱大一販売　導入予定日 7月20日

©2006竜騎士07／ひぐらしのなく頃に製作委員会・創通　©2007竜騎士07／雛見沢御三家　©2009竜騎士07／雛見沢御三家　©2011竜騎士07／雛見沢御三家　©Daiichi

遊びやすい甘スペック 1種2種小当たり転落タイプ

大当たり確率約1/119、右打ち中の大当たり確率は約1/7の1種2種小当たり転落タイプ。初当たり後は98%で時短1回＋残保留4回の「真・身隠しモード」に突入する。「真・身隠しモード」中に大当たり獲得で時短99回＋残保留4回の「絆結びRUSH」（時短中の大当たりに限る）を獲得。「絆結びRUSH」中に約1/20の転落小当たりに当選すると電サポ終了。残保留で大当たりすると、時短4回＋残保留4個を獲得する。

甘デジタイプ
大当たり確率：低確率 約1/119.81　右打ち中 約1/7.72
小当たり確率：特図1 1/99.9　特図2 1/5.86
転落小当たり確率：約1/20.2
小当たり確率：1/1.03
リミッター：なし
時短回数：1回or4回or99回（転落小当たりを引くまで継続）
賞球数：3&1&4&6&9

SANKYO
フィーバー バイオハザード リベレーションズ2 1/199

問い合せ／㈱SANKYO　導入予定日 7月20日

©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.
※甘デジタイプの『LIGHT ver.』も同時リリース

確変継続or終了のドキドキ感が楽しい

V確ループタイプのライトミドル。3・7図柄の大当たりは確変（RUSH）確定、その他の図柄は確変or通常大当たりとなる。すべての大当たり後100回転までは電サポ付き。40回転までは高速消化で液晶が割れると即当たり。41回転から100回転までは、演出が楽しめる。転落抽選方式なので101回転以降も電サポが続けば通常図柄大当たりでも確変確定、再び高速消化に入り、変異アレックスに敗北するとRUSH終了となる。

ライトミドルタイプ	
大当たり確率：1/199.8→1/127.5	
確変：特図1=10%　特図2=100%　転落確率：1/409	
高ベース：100回or100回＋α ※大当たりor高確率転落まで継続	
RUSH突入率：約45.5% ※確変10%、時短引き戻し39.5%の合算値	RUSH継続率：約80%
賞球数：3&1&5&15	ラウンド数：10Ror8Ror6Ror4R・10カウント
払い出し個数：1500個or1200個or900個or600個	

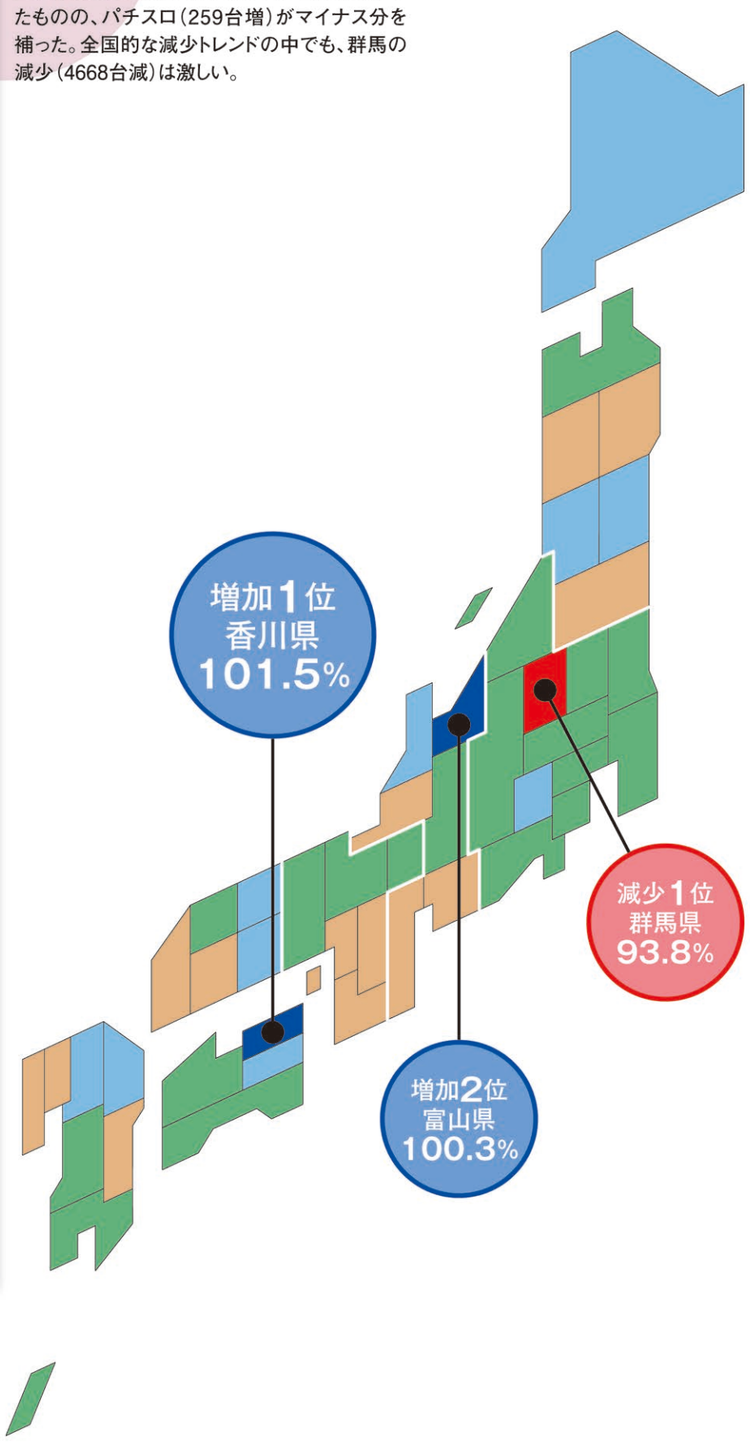
最新 全国店舗数・遊技機設置台数

警察庁が発表した2019年12月末時点の店舗数・設置台数をもとに、都道府県別の店舗数および設置台数の変化、人口1000人あたりの設置台数を本紙が算出した。なお遊技機総設置台数にはアレンジボール、じゃん球、スマートボールを含んでいる。

設置台数の変化（2018年末→2019年末）

前年比で設置台数が増えたのは香川と富山の2県だけ。香川はパチンコが227台、パチスロが292台増加した。富山はパチンコが123台減少したものの、パチスロ（259台増）がマイナス分を補った。全国的な減少トレンドの中でも、群馬の減少（4668台減）は激しい。

順位	都道府県	総設置台数2018年比（%）
1	香川県	101.5
2	富山県	100.3
3	鳥取県	99.8
4	山梨県	99.7
5	石川県	99.5
6	徳島県	99.4
7	山形県	99.2
7	福岡県	99.2
7	大分県	99.2
10	岡山県	98.9
11	北海道	98.5
12	宮崎県	98.2
12	愛媛県	98.2
12	新潟県	98.2
12	静岡県	98.2
12	兵庫県	98.2
17	島根県	98.1
17	茨城県	98.1
19	神奈川県	98.0
19	熊本県	98.0
21	岐阜県	97.9
22	長野県	97.7
23	栃木県	97.6
24	青森県	97.5
25	滋賀県	97.3
26	東京都	97.2
26	埼玉県	97.2
26	京都府	97.2
26	千葉県	97.2
30	鹿児島県	97.1
31	沖縄県	97.0
31	高知県	97.0
33	福井県	96.9
34	秋田県	96.8
35	愛知県	96.7
35	大阪府	96.7
37	岩手県	96.6
37	和歌山県	96.6
37	広島県	96.6
40	長崎県	96.5
40	宮城県	96.5
42	三重県	96.4
43	福島県	96.1
44	佐賀県	96.0
45	山口県	95.6
45	奈良県	95.6
47	群馬県	93.8



全国ホール軒数 遊技機設置台数

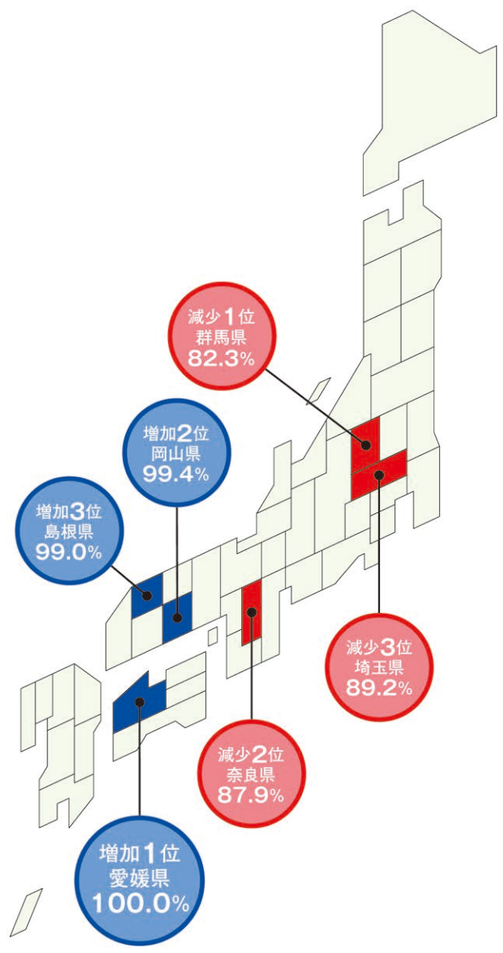
全国のホール軒数は9639軒で前年より421軒（4.2%）減少した。ホール軒数が1万軒を下回るのは、フィーバー機の登場で拡大基調に転じた1981年（9807軒）以来38年ぶり。総設置台数は419万5930台で、前年より10万6801台（2.5%）減少した。

	都道府県	ホール軒数	パチンコ設置台数	パチスロ設置台数	総設置台数
北海道	札幌方面	247	69,098	44,905	114,003
	函館方面	52	13,285	8,204	21,489
	旭川方面	76	16,530	10,194	26,724
	釧路方面	79	19,676	11,961	31,637
	北見方面	43	9,484	5,750	15,234
東北	青森県	127	35,603	20,640	56,243
	岩手県	125	32,108	16,545	48,653
	宮城県	186	56,056	31,849	87,905
	秋田県	105	26,852	13,361	40,213
	山形県	100	23,455	13,675	37,130
	福島県	185	48,362	28,460	76,822
関東	東京都	794	174,584	126,115	300,699
	茨城県	247	62,629	46,609	109,238
	栃木県	184	49,015	31,102	80,117
	群馬県	154	43,497	27,565	71,092
	埼玉県	475	123,493	81,452	204,945
	千葉県	404	104,915	68,811	173,726
	神奈川県	518	127,593	87,756	215,363
	新潟県	165	43,601	26,174	69,775
	山梨県	63	17,463	8,864	26,327
	長野県	167	44,790	26,894	71,718
	静岡県	280	76,393	48,920	125,324
中部	富山県	73	24,677	14,713	39,390
	石川県	89	26,846	15,516	42,362
	福井県	72	22,790	11,033	33,823
	岐阜県	163	50,153	27,437	77,590
	愛知県	524	169,554	106,816	276,370
	三重県	124	41,127	24,105	65,232
近畿	滋賀県	112	29,585	20,348	49,933
	京都府	166	43,945	26,873	70,818
	大阪府	712	199,941	110,601	310,595
	兵庫県	392	91,999	65,307	157,306
	奈良県	77	20,193	10,526	30,719
	和歌山県	79	23,652	12,394	36,083
中国	鳥取県	66	13,443	11,097	24,540
	島根県	72	14,355	10,853	25,208
	岡山県	140	31,097	29,159	60,256
	広島県	252	49,611	43,150	92,761
	山口県	128	32,826	24,791	57,617
四国	徳島県	64	17,948	11,360	29,308
	香川県	77	21,024	13,715	34,739
	愛媛県	117	30,891	20,784	51,675
	高知県	84	20,700	10,033	30,733
九州	福岡県	372	114,129	80,908	195,037
	佐賀県	64	20,393	12,683	33,076
	長崎県	147	36,396	22,558	58,954
	熊本県	155	49,821	27,700	77,521
	大分県	123	34,507	22,624	57,131
	宮崎県	126	40,738	20,916	61,654
	鹿児島県	217	55,546	26,331	81,877
	沖縄県	76	11,476	17,769	29,245
合計		9,639	2,557,845	1,637,906	4,195,930

※総設置台数にはアレンジボール、じゃん球、スマートボールを含まない

設置台数の変化（2016年末→2019年末）

全国の総設置台数を3年前と比較すると、パチンコは27万5288台（9.7%）、パチスロは5万3970台（3.2%）減少している。直近3年間で総設置台数が増えた県は愛媛（15台増）。パチンコが1156台減少したもののパチスロが1171台増加して、同水準を維持している。

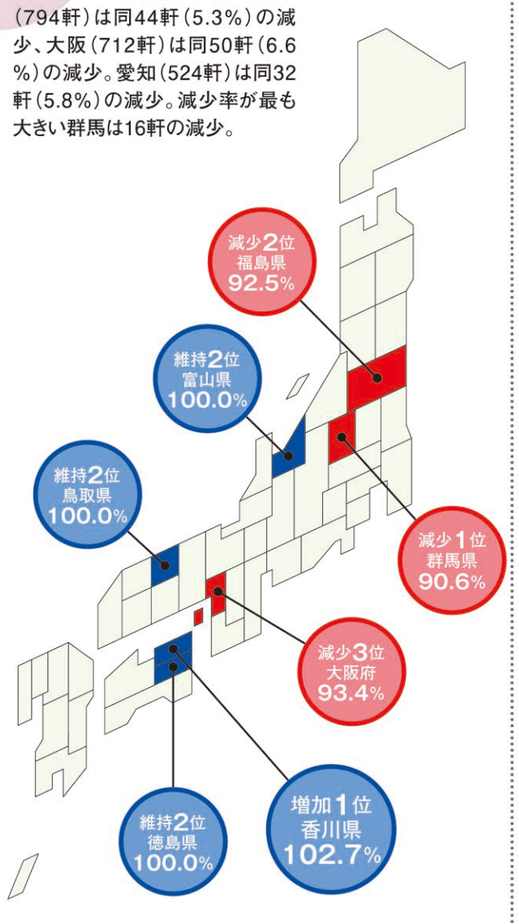


順位	都道府県	総設置台数2016年比（%）
1	愛媛県	100.0
2	岡山県	99.4
3	島根県	99.0
4	大分県	97.5
5	富山県	97.1
6	岩手県	96.7
7	徳島県	95.8
8	鹿児島県	95.7
9	青森県	95.6
9	広島県	95.6
11	香川県	95.5
12	秋田県	95.4
13	熊本県	95.2
14	山形県	95.1
15	福岡県	95.0
16	宮城県	94.6
16	宮崎県	94.6
18	千葉県	94.4
19	福井県	94.3
20	高知県	94.0
21	長野県	93.9
22	神奈川県	93.8
23	和歌山県	93.7
23	福島県	93.7
25	石川県	93.4
26	鳥取県	93.1
27	茨城県	92.9
28	愛知県	92.8
28	沖縄県	92.8
30	岐阜県	92.6
31	三重県	92.5
32	京都府	92.4
32	兵庫県	92.4
34	長崎県	92.3
35	北海道	91.7
36	佐賀県	91.4
36	栃木県	91.4
38	山口県	91.2
38	滋賀県	91.2
40	静岡県	91.0
41	東京都	90.8
41	山梨県	90.8
43	大阪府	90.1
44	新潟県	89.9
45	埼玉県	89.2
46	奈良県	87.9
47	群馬県	82.3

店舗数の変化（2018年末→2019年末）

前年比で店舗数が増えた県は香川（2軒増）。富山、鳥取、徳島は増減がなかった。店舗数が多い東京（794軒）は同44軒（5.3%）の減少、大阪（712軒）は同50軒（6.6%）の減少。愛知（524軒）は同32軒（5.8%）の減少。減少率が最も大きい群馬は16軒の減少。

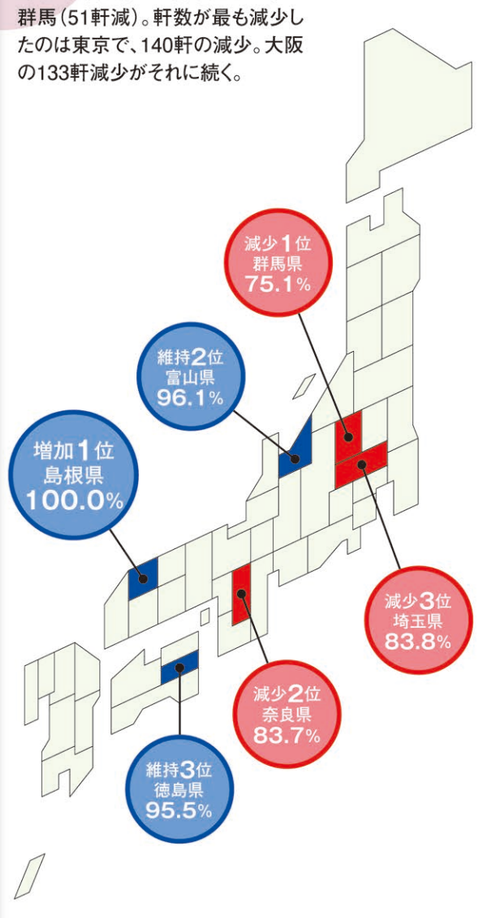
順位	都道府県	2018年比（%）
1	香川県	102.7
2	富山県	100.0
2	鳥取県	100.0
2	徳島県	100.0
5	愛媛県	99.2
6	熊本県	98.7
7	島根県	98.6
8	大分県	98.4
9	山形県	98.0
10	福岡県	97.9
11	高知県	97.7
12	福井県	97.3
13	神奈川県	97.2
14	新潟県	97.1
15	佐賀県	97.0
16	宮崎県	96.9
16	岩手県	96.9
18	石川県	96.7
19	岡山県	96.6
19	広島県	96.6
21	岐阜県	96.4
21	千葉県	96.4
23	北海道	96.3
24	静岡県	96.2
24	青森県	96.2
24	沖縄県	96.2
27	三重県	96.1
27	兵庫県	96.1
29	京都府	96.0
30	宮城県	95.9
31	栃木県	95.8
32	滋賀県	95.7
33	山口県	95.5
33	秋田県	95.5
33	山梨県	95.5
36	茨城県	95.4
37	埼玉県	95.2
37	和歌山県	95.2
39	長崎県	94.8
40	東京都	94.7
41	長野県	94.4
42	愛知県	94.2
43	鹿児島県	93.9
43	奈良県	93.9
45	大阪府	93.4
46	福島県	92.5
47	群馬県	90.6



店舗数の変化（2016年末→2019年末）

直近3年間で店舗数は1347軒減少した。減少率が最も小さい県は島根（2軒減）で、最も大きい県は群馬（51軒減）。軒数が最も減少したのは東京で、140軒の減少。大阪の133軒減少がそれに続く。

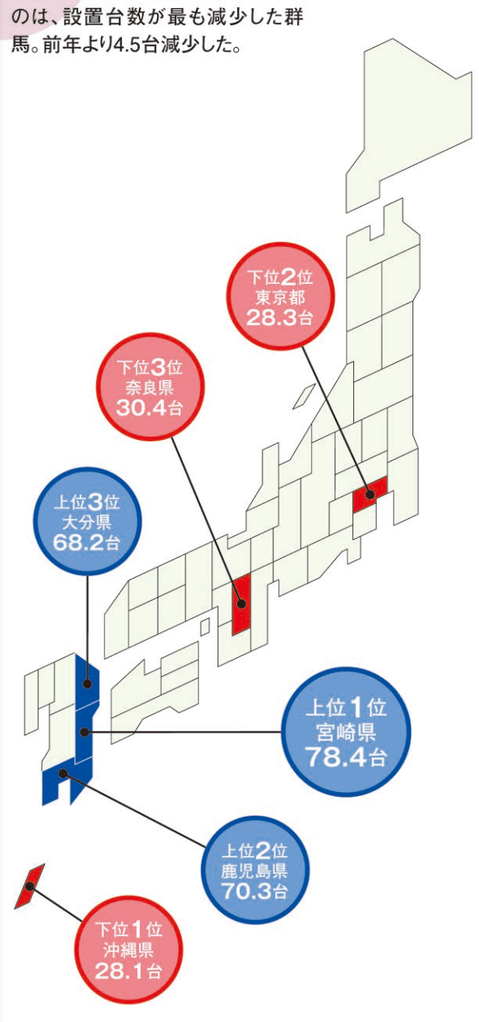
順位	都道府県	2016年比（%）
1	島根県	97.3
2	富山県	96.1
3	徳島県	95.5
4	熊本県	94.5
5	岡山県	94.0
6	香川県	93.9
6	大分県	93.9
8	愛媛県	93.6
9	福井県	93.5
10	広島県	93.0
11	沖縄県	92.7
12	山形県	92.6
13	福岡県	92.1
14	秋田県	91.3
15	岩手県	91.2
16	宮崎県	90.6
17	鳥取県	90.4
18	栃木県	90.2
19	佐賀県	90.1
20	石川県	89.9
21	京都府	89.7
22	千葉県	89.6
23	青森県	89.4
24	宮城県	89.0
25	北海道	88.9
26	鹿児島県	88.6
26	長崎県	88.6
28	高知県	88.4
29	神奈川県	88.1
30	兵庫県	87.7
30	福島県	87.7
32	山梨県	87.5
33	三重県	87.3
34	和歌山県	86.8
35	滋賀県	86.2
36	山口県	85.9
37	茨城県	85.8
38	長野県	85.6
39	静岡県	85.4
40	愛知県	85.3
41	新潟県	85.1
42	東京都	85.0
43	大阪府	84.3
44	岐阜県	84.0
45	埼玉県	83.8
46	奈良県	83.7
47	群馬県	75.1



1000人あたりの設置台数

都道府県別に成人人口1000人あたりの設置台数を調べた。上位3県は前年と同順で、九州圏の多台数が目立つ。前年と大きな差があったのは、設置台数が最も減少した群馬。前年より4.5台減少した。

順位	都道府県	1000人あたりの設置台数（台）
1	宮崎県	78.4
2	鹿児島県	70.3
3	大分県	68.2
4	熊本県	61.1
5	鳥取県	60.5
6	長崎県	60.0
7	福井県	59.4
8	高知県	59.2
9	青森県	58.7
10	山口県	57.4
11	佐賀県	55.8
12	福島県	55.2
12	秋田県	55.2
14	栃木県	54.2
15	岩手県	53.5
16	徳島県	53.4
17	北海道	52.6
18	島根県	52.1
19	岐阜県	51.8
20	福岡県	51.6
21	愛媛県	51.4
22	宮城県	51.3
23	和歌山県	51.1
24	富山県	50.3
24	石川県	50.3
26	茨城県	49.7
27	愛知県	49.0
28	三重県	48.6
29	香川県	48.4
29	群馬県	48.4
31	滋賀県	48.1
32	長野県	47.3
33	山形県	47.1
34	大阪府	46.6
35	静岡県	45.5
36	広島県	44.6
37	岡山県	43.5
38	山梨県	43.1
39	新潟県	42.3
40	兵庫県	38.1
41	京都府	37.3
42	埼玉県	36.4
43	千葉県	36.3
44	神奈川県	30.9
45	奈良県	30.4
46	東京都	28.3
47	沖縄県	28.1



※総務省「住民基本台帳に基づく人口」2019年1月1日時点の20歳から79歳までを抽出